

平成 28・29 年度

施策評価の実施報告書

平成 29 年 12 月
千 代 田 区

はじめに

千代田区は、「千代田区第3次基本構想～千代田新世紀構想～」において将来像として描く、「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田」の実現に向け、区政の課題を明らかにし、その解決の方向性を施策の目標として具体化した「ちよだみらいプロジェクト -千代田区第3次基本計画 2015-」に基づき、様々な施策に取り組んでいます。

これまで区民生活の安全・安心が確立された豊かな地域社会の実現をめざして、子ども・子育て施策や高齢者施策など質の高い行政サービスの提供に努め、都心回帰の流れと相まって、平成29年4月には区の住民基本台帳人口は6万人台に回復しました。

一方で、人口増加に伴うニーズの多様化や区内居住者の8割を超えるマンション住まいに関する課題等への対応が求められています。

こうしたなか、区ではちよだみらいプロジェクト策定後、取組みの進捗を測り、現状と課題を把握し、今後の施策の実効性を高めるため、施策評価を実施しました。

区のこれまでの手法とは異なり、今回の評価では、「評価結果を今後の行政運営につなげる」という行政評価の趣旨をより明確化させるため、学識委員による外部の視点だけではなく、区の職員も内部の視点として加えた行政評価委員会を設置し、ちよだみらいプロジェクトに掲げる37の全施策の目標について評価を実施したところです。

本書は、施策評価の実施結果及びその評価結果に対する区の今後の活用方針等を記したもののです。

この実施報告が、区民の皆さんにとって、今後の区の施策や将来像について、理解を深めていただけた上での一助となれば幸いです。

今後、区では評価結果を踏まえ、施策の進捗管理の徹底と課題の解決を行うことで、効果的・効率的な行政運営を一層推進して参ります。

結びに、ちよだみらいプロジェクトに掲げる37の全施策について、精力的かつ熱心なご議論をいただきました学識委員の皆さんに心から感謝を申し上げます。

千代田区長 石川雅己

目 次

| | |
|---|-----|
| 第一章 千代田区の行政評価制度の概要 | 1 |
| 1 千代田区の行政評価制度の沿革 | 3 |
| (1)第3次基本計画の策定と行政評価制度の導入（平成14～24年度） | 3 |
| (2)「千代田区の行政評価制度」に関する外部評価（平成25年度） | 4 |
| 2 行政評価制度の再構築 | 6 |
| (1)「ちよだみらいプロジェクト-千代田区第3次基本計画 2015-」の策定と行政評価制度の再構築 | 6 |
| (2)再構築した行政評価制度の概要 | 6 |
| (3)施策評価（平成28、29年度）の概要 | 7 |
| 3 一次評価の実施（平成28年度） | 9 |
| (1)在住・雇用区民アンケート調査 | 9 |
| (2)所管部等における評価 | 9 |
| 4 二次評価の実施（平成29年度） | 11 |
| (1)行政評価委員会の構成 | 11 |
| (2)分科会における評価 | 11 |
| (3)行政評価委員会の開催状況 | 15 |
| 第二章 施策評価結果 | 17 |
| 1 施策評価結果総論 | 19 |
| (1)子ども・保健福祉分科会 | 19 |
| (2)地域振興分科会 | 22 |
| (3)環境まちづくり・政策経営分科会 | 24 |
| (4)施策評価を終えて | 26 |
| 2 施策評価結果一覧 | 28 |
| 3 施策評価結果 | 32 |
| 4 自由意見一覧 | 180 |
| 第三章 施策評価結果を踏まえた今後の活用方針等 | 185 |
| 1 施策評価結果を踏まえた今後の活用方針等 | 187 |
| 参考資料 | 189 |
| 1 千代田区行政評価実施要綱 | 190 |
| 2 千代田区行政評価委員会設置要綱 | 192 |
| 3 千代田区行政評価委員会 委員名簿 | 194 |
| 4 分科会概要 | 195 |
| 5 在住区民アンケート | 199 |
| 6 雇用区民アンケート | 210 |

平成 28・29 年度
施策評価の実施報告書

平成 29 年 12 月

編集 千代田区行政評価委員会・千代田区
発行 千代田区政策経営部企画課

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
TEL 03-3264-2111（代表）
TEL 03-5211-4140（直通）

有償刊行物登録番号

29-06